

コンパクトなLDKのリビングコーナーにイタリアのサノッタ社のラフソファを配した。(設計/中村雅子デザイン事務所 撮影/Naosasa & Partners Inc.)



一口にラフソファといっても、その大きさは幅1200〜2000mm、奥行700〜1000mmと実に幅があります。限られた空間の中でソファ選びにいちばん大切なことは、その配置とサイズでしょう。できれば20分の1ほどの大きな平面図に正確に書き入れ、全体とのポリウムバランスを見ることがです。またソファに座り、どのようにくつろぐのかを明確にし、実際の座り心地を体験しておくことも大切なポイントです。

ソファに座ったときの視界の広がりや、くつろぎ方の検討が必要  
文●中村雅子(建築家)

ラフソファのサイズは2タイプ。  
3人掛けは3タイプのサイズがあるので、部屋の広さに応じて。  
W1600×D940×H800mm ¥813,000  
(アンビエンテ・インターナショナル)



**GABRIEL**

コンパクトでかわいらしいデザイン。バックシートが意外と薄い  
ため、重たい感じはしない。  
W2000×D810×H850・SH410mm  
¥390,000(建築資料研究社)

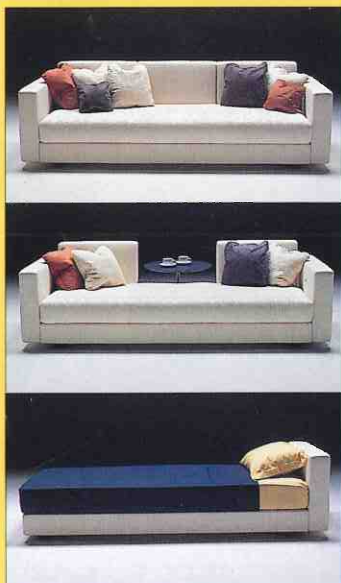


**必要な機能を整理して選びたい、付加価値の高いソファ**

くつろぐステージの違いに応じて、フォルムや機能が工夫されたソファを、ご紹介しましょう。

**BEE-SOFA**

P91の商品と同じシリーズ。いろいろなパーツをセットして、使い分ける多機能タイプ。  
W2310×D880×H600・SH400mm(最上段の状態)  
¥614,000(アルフレックス・ジャパン)



**B&S エラ**

バックシートを倒せばベッドになる。来客の不意の宿泊にも重宝しそうな機能派。  
W1600(2300)×D900(1900)×H790(450)・SH430mm  
¥570,000(モンテリビングサロン)

**Danielle**

フレームはアルミニウムのため軽量になっているので、移動がしやすくなっている。  
W1700×D920×H890・SH450mm  
¥496,000(ノバ大島)



**RITZ 286-23**

バックレストが3段階にリクライニング。カバーリングシステムでファブリック交換も可能。  
W2550×D900×H760・SH390mm  
¥1,160,000(サボリティ・イタリア)

